

教育目標「自ら未来を拓き 心豊かに たくましく生きる子どもの育成」



150周年

遷喬小だより

TEAM 遷喬・PRIDE 遷喬 ～子どもも 教職員も 地域も 伸びる学校～

メディアコントロール週間

今年度のめざす児童像「鍛え合う子」の重点的な取組として「メディアコントロールを中心とした生活習慣の改善」を推進しています。

2月13日付けの山陽新聞に「岡山県内では裸眼視力1.0未満の割合が小学生35.2%で親世代(1994年度、20.1%)の1.8倍となった。」という記事が掲載されていました。スマートフォン・ゲーム等の長時間使用の弊害が現れているといえます。

スマートフォン・ゲーム等の長時間使用は、視力以外にも、姿勢や体重への影響、ストレスや不安の増加、学習意欲低下、睡眠不足による体調不良などの弊害が考えられます。

2月19日(水)～27日(木)は、今年度最後のメディアコントロール週間に設定しています。この機会に、再度各家庭でのスマートフォン・ゲーム等の使用時間の約束を確認し、お声かけいただければと思います。



3年生 保健学習の様子
「健康な生活」について

新1年生体験入学

2月12日(水)に次年度入学予定の園児が、1年生と5年生と交流しました。1年生は、名前の書き方を教えてあげたり、数字の書き方を教えてあげたりと、自分たちが学習したことを使って、交流しました。また、小学校生活の様子を絵に描いて紹介したり、絵本の読み聞かせをしたりといった交流の様子も見られました。5年生は、遷喬小学校はどんな学校なのかを、プレゼン資料をつかって園児に分かりやすく紹介したあとに、紹介したことをもとにした三択クイズを出して交流しました。1年生はもうすぐ1年上の先輩として、5年生はもうすぐ最高学年として、どちらの学年の児童も園児にやさしく関わることができました。

交流している1年生の様子



交流している5年生の様子



認知症サポーター養成講座～4年生～

2月10日(月)、4年生が福祉学習として、車いす体験に続き「認知症」について学びました。真庭市認知症キャラバン・メイトの方をゲストティーチャーに迎え、認知症についての正しい理解と、温かいサポートの仕方について教えていただきました。温かいサポートの仕方については、寸劇に児童も参加し、どのような声かけをすればよいかを考えられました。講座の最後に、4年生の子どもたちは、認知症の人を応援する証である「オレンジリング」を受け取りました。



寸劇に参加

オレンジリングをつけて

読書活動

朝の活動時間に、久世図書館読み聞かせボランティアの方に来ていただき、1年生から4年生を対象にした読み聞かせを今年度も行っています。毎回子どもたちが読書により興味がもてるようにと、心に残る本を選んで読み聞かせをしてくださっています。

図書室では、子どもたちが読書に興味をもてるように、季節や行事に関連した本の紹介コーナーや新書コーナーを図書司書がいつも整えています。児童の図書委員会も、読書活動を推進するために学期ごとに図書イベントを考えて実施しています。2月は、本を借りてスタンプが3つたまったら、くじが引けるバレンタインイベントを行っています。

メディアコントロール週間に合わせて、各家庭でも読書の時間が増えたらいいですね。



読み聞かせボランティア



2月に関連のある本紹介



図書委員会イベントポスター